

## 研究テーマ

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える課題の解決に向けた小学校社会科の授業改善

## 小学校社会科ではどのような課題を解決すべきか

平成26年度佐賀県小・中学校学習状況調査[12月調査]（以下、県調査）Web報告書から、小学校社会科の課題を整理すると、以下の2点になります。

- ・資料から読み取った情報を比較したり関連付けたりして、社会的事象の特徴、働き、役割、因果関係、条件などを考え、表現すること（社会的な思考・判断・表現）
- ・社会的事象についての基礎的な知識を身に付けること（社会的事象についての知識・理解）

## 課題の解決に向けて児童に必要な力とは

上記の課題の解決に向けて児童に身に付けさせるべき力を、以下のように整理しました。

- ・もっている知識や調べて分かったことを根拠として社会的事象の意味を多面的、総合的に考える力（社会科における思考力・判断力）
- ・習得した知識を活用して社会的事象の意味について分かったことや考えたことを説明したり、論述したりする力（社会科における表現力）
- ・思考や表現などの過程を通して、基礎的な知識を身に付けながら社会的事象の意味を理解する力（社会科における知識を身に付け、理解する力）

## 研究の目標

小学校社会科における思考力・判断力・表現力及び社会的事象の意味を理解する力を育成する効果的な授業改善策を探る。

## 研究の方法と内容

- ・平成26年度県調査[12月調査]の結果を基に、研究委員の所属校における実態調査を行い、その解答傾向を分析する。実態調査の分析を基に、各校の授業改善の重点事項を明らかにする。
- ・明らかにした重点事項を課題とし、その課題の解決に向け、授業改善策として、平成25・26年度のプロジェクト研究で取り組んだ「意思決定を取り入れた討論型の学習」を基に、研究委員の所属校ごとの具体的な手立てを考案する。
- ・考案した具体的な手立てを取り入れた授業展開案、ワークシート、教材等を作成し、研究委員の所属校において検証授業を行い、授業改善の効果についての検証を試みる。
- ・検証授業においては、県内の教職員に公開し、研究の妥当性を協議するとともに授業改善策の修正を行い、授業改善としてWeb発信することで提案する。

## 参考文献

- ・佐賀県教育委員会 『平成26年度佐賀県小・中学校学習状況調査[12月調査]結果報告』 平成27年2月  
[http://www.saga-ed.jp/kenkyu/scholastic\\_attainments\\_analysis/H26\\_12\\_Webreport\\_center/documents/h26\\_12\\_ikkatu.pdf](http://www.saga-ed.jp/kenkyu/scholastic_attainments_analysis/H26_12_Webreport_center/documents/h26_12_ikkatu.pdf)